

令和6年度
南風原町地域公共交通会議
第2回

【今後の展開（案）】

令和7年2月6日
南風原町 まちづくり振興課

- AIオンデマンド交通の利用実態及び各アンケート調査結果から抽出した課題より、今後の展開方針について以下に示す

前提条件

- 【モビの利用率の向上】及び【事業の収益性向上】を目標に今後の展開方針を検討

利用実態及び各アンケート調査結果から抽出した課題より

【展開方針】

- 今年度の実証運行を踏まえ、本町にふさわしい運行サービスの在り方や水準を明確にする
- 今年度実証運行を踏まえた利用者ニーズに対応した実証運行、モビ継続運行に向けての施策の検討
- モビの認知度向上を高めるとともに、事業者間の情報共有の仕組みづくり

【利用促進策】

- ① 手軽に利用可能な交通システムを推進するためにサービス目標を明確にする
 - ・ 目標値を設定できるような利用者アンケートの実施、交通事業者・地域団体企業等からのデータ提供に基づきKPI値を算出。
 - ・ 運行経費の節減のため、実証運行の需要動向から利用者・利用目的に一定条件を設け、サービス水準を明確にする。 等
- ② 利用者に役立つメリット・タイミングを分かりやすく伝えるための周知・プロモーションの推進
 - ・ 高齢者を対象とした公民館等におけるアプリ利用方法の講習会を実施する。
 - ・ 公共交通を必要としている学生、高齢者などに対するイベントによる周知を図る。 等
- ③ 利用者ニーズに対応したモビ運行の構築
 - ・ 平・土・日（祝）の利用率の平準化を図るためピーク、オフピーク時間帯の運行台数増減調整、ニーズの高いモノレール駅への接続、「事前予約システム」を検討し利用者の需要拡大を図る。（タクシーとの競合は回避）
- ④ モビ継続運行のための利用及び収益性向上の検討
 - ・ デマンド型交通の効率的な運行を目指し、需要に対しての適切な配車台数、利用料金を検討する。また、相乗り率を高めるための利用料金（相乗りを促す仕組み：グループ割引、クーポンなど）の検討、さらに、福祉施策と連携した健康増進施設・介護予防施設への送迎等）やサイネージ広告による収入等を検討する。
- ⑤ 運営事業者・運行事業者間の連携強化・情報共有の推進
 - ・ ニーズの高い乗降場所周辺への乗合タクシー待機所を設置、また、運営側と運行側との配車システムに関する情報共有の強化、さらに、高齢者のコールセンター利用時における意思疎通の円滑化の検討を行う。

■今後の展開（案）

- ・ 前述に示した利用促進策について、次年度以降の展開を以下に示す

利用促進策		令和6年度	令和7年度	令和8年度	R9以降
①	手軽に利用可能な交通システムを推進するためにサービス目標を明確にする		KPI算出・目標値の設定 サブスク、回数券、利用料金の検討・見直し		オンデマンド交通の本格導入
②	利用者に役立つメリット・タイミングを分かりやすく伝えるための周知・プロモーションの推進	・周知広報（町広報誌・チラシ配布・その他） ・地域別の説明会 ・アプリ利用の講習会			
③	利用者ニーズに対応したモビ運行の構築	ニーズの高い施設への接続検討 運行時間・配車台数の検討 区域見直し、関係者調整、手続き 事前予約制導入の可能性検討			
④	モビ継続運行のための利用及び収益性向上の検討		相乗り利用促進の検討 企業、福祉、広告等による収入の検討 本格運行に向けた財政負担額の検討		
⑤	運営事業者・運行事業者間の連携強化・情報共有の推進	運営、運行事業者との連携強化 不慣れな高齢利用者への対応方針の検討		待機所の検討	
その他		・利用実態の把握・分析 ・課題抽出 ・対策案の検討・実施	・利用実態の把握・分析 ・課題抽出 ・対策案の検討・実施	・利用実態の把握・分析 ・課題抽出 ・対策案の検討・実施	